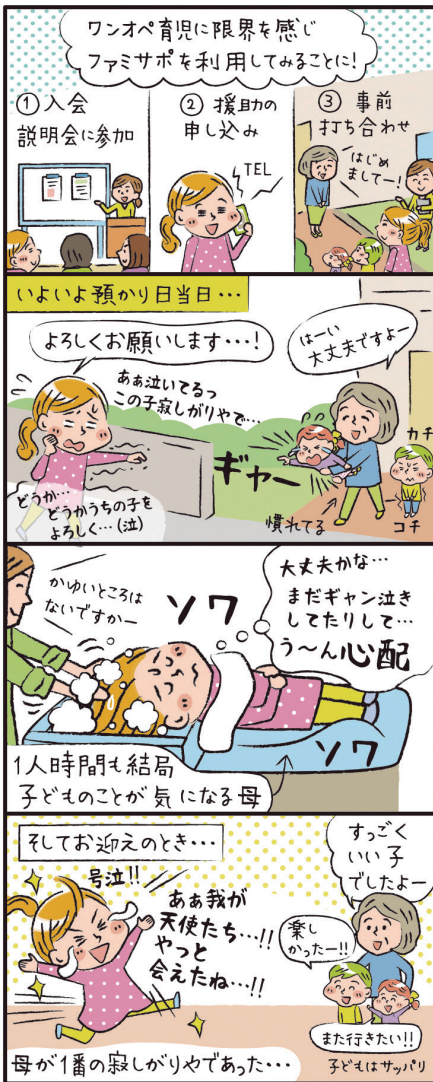




戸田1年生、まちを行く!

第36回 とだファミリー・サポート・センターを使ってみよう!



平日は基本的にワンオペ育児の我が家。イヤイヤ期で癩癩大魔王の娘と自由奔放に磨きかけた体力オバケの息子の相手、母のHPは常に瀕死状態。たまには息抜きしたいけど、夫婦共に実家は遠方で気軽に頼れる人も周りにおらず、外出するにもひと苦勞…。一体、世の中のほかの親はどうしているのか。そこでママ友に尋ねてみたところ「ファミサポ使ってみたら? 登録だけでもしておけば安心感が違うよ」との情報を入手! ファミサポとはいわば地

域の育児支援サービスで、1時間700円~利用できるらしい。そうか、つい子育てに一生懸命になるあまり一人で全部抱え込んでしまっていたけれど、頼れるものは頼っていいのかもしれない。子どものためには、周りの手を借りて、ボロボロの心と体をしっかり休めて、翌日の朝「おはよう」と元気に笑えることの方がきっと大事だ。「笑う母には福来たる」、そう気付いた私は早速会員登録をしに入会説明会への扉を開いていた…。

今月はここに注目!

とだファミリー・サポート・センター



住所 戸田市上戸田1-18-1
(ボランティア・市民活動支援センター内)
電話番号 433-2244
利用料金 月~金曜日(午前7時~午後7時):1時間700円
※上記の時間外および土・日曜日、祝日、年末年始は1時間800円

子育てのお手伝いをしたい方(協力会員)と、手助けが欲しい方(依頼会員)がお互い会員となって、育児の援助活動を行う組織です。生後6カ月~小学6年生までの子どもが対象で、保育園や習い事の送迎、リフレッシュなど目的は問わず利用可能。協力会員は、子育てがひと段落した方や自身も子育て中の方などさまざま、センターで実施する講習を受けているので安心して預けられます。

依頼会員の声

事前打ち合わせでアドバイザーさん立ち会いのもと、実際に預かってくださる協力会員さんの自宅にお邪魔してコミュニケーションがとれたので安心してお任せできました。身近な所で子育てのサポートを受けられるのでとても心強く感じています。

協力会員の声

自分の子が進学したのをきっかけに協力会員になり、主に習い事や保育園の送迎の手伝いをしています。幼児期の育児を再体験することで、自分の子どもたちへの愛情も一層増して、やりがいを感じています。

とだファミリー・サポート・センターでは、**協力会員も募集中です!**
あなたの経験を活かして、**子育てのお手伝いしてみませんか?**



イラストレーター
アイヨウコ

埼玉県民。イラストレーター。小・中学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。子どもを初めて預けた時号泣されて罪悪感…を感じるよりも解放感でスキップして踊り出しそうになったのを思い出しました。

こちら、とだっ子情報局

とだっ子情報局では、戸田にまつわる楽しい情報をクイズ形式でお届けします。
今回は、フードドライブについてのクイズです。



賞味期限内でも、
家庭で食べ切れず
眠っている食品は
どこに届けられるでしょう?



答えは「①子ども食堂!」

市に寄せられたお米やインスタント麺、お菓子などの未開封の食品を市内の子どもたちへ届ける「フードドライブ活動」を知っていますか。



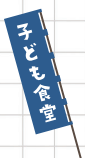
フードドライブに寄附された食品



お菓子やインスタント麺などが有効活用されます

2021年にスタートした市職員によるフードドライブは、市民や事業所の方にも伝わり、多くの方から積極的に提供いただいています。2022年11月には、市民や事業所の方から437点の食品が集まり、子ども食堂を通じて「食」の支援を必要とする子どもたちへ届けられました。届ける相手の顔の見えない支援ですが、無駄なものを買わないようにしようという、地球にも家庭にも優しい意識が芽生える取り組みです。

① 子ども食堂



② 学校給食の調理場



③ 市外の牧場

